

# 議会だより



第142号

平成27年7月24日

温泉館の食堂営業再開

補正予算 2P

サイバー攻撃、常に危機意識を

一般質問 4P

津波避難

委員会レポート 7P

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai@town.wakayama-hidaka.lg.jp

# 6月定例会

第2回定例会は6月12日から19日まで、8日間の会期で開催した。

今定例会には報告7件、同意1件、議案9件、発議2件が提案され、慎重審議の結果、それぞれ原案のとおり可決した。

## 一般会計補正予算

既定の予算額に4178万7千円を追加し、総額40億8379万1千円とする。

### —主な内容—

臨時福祉給付金1449万9千円、子育て世帯臨時特例給付金518万8千円、温泉館費670万円、原谷区のコミュニティ助成事業410万円、防団員の退職報奨金214万5千円、小規模土地改良事業434万円など。

**◎** 温泉館の食堂運営に補助金を出すに至った経緯の説明を。  
**◎** 産業建設課長 使用料改正後の募集では、申込書の持ち帰りが4者、それ

から現地説明に4者の参加があったが、いずれも申込みに至らなかった。  
**◎** 温泉館を訪れる方々の利便性と、町内で生産される海産物、農産物、加

工品等を使用した食堂と同時にミニ販売所を併設し、それらのPRをすることににより一次産業の振興に努めたい。

**◎** 温泉館費の消耗品費、一般備品購入費、食堂運営補助金について詳細な説明を。

**◎** 産業建設課長 消耗品費は、皿や鉢、コップ、スプーンなどの食器類で、一般備品は、給茶器、電子レンジ、赤外線魚焼き器などの調理器具である。

補助金は使用料、管理費、駐車場警備費、水道使用料、電気使用料、ガス使用料である。



営業を再開した温泉館の食堂

**◎** 委託先となるグループ名とその会の内容の説明を。  
**◎** 産業建設課長 グループ名は「みちしお会」、会員数は現在17名である。

**◎** みちしお会と町との関係は。

**◎** 夏のスーザンまでに何とか開店したいということで、過去に温泉館食堂部で勤務経験のある方に町からお願いをしグループを作ってもらった。

**◎** 臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の対象者への通知と申請についての説明を。

**◎** 臨時福祉給付金は1人あたり6千円、通知は10月下旬にし、申込受付は11月2日から2月2日の予定である。

**◎** 今後の運営方法と規約は。

**◎** 産業建設課長 補助金交付要綱原案、みちしお会の規約を作成している。

**◎** 臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の対象者への通知と申請についての説明を。

**◎** 臨時福祉給付金は1人あたり6千円、通知は10月下旬にし、申込受付は11月2日から2月2日の予定である。

**◎** 臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給

付金は1人あたり3千円、現在、児童手当の現況届けと同時に受け付けている。

受付期間は6月から9月1日まで。  
支払いは10月13日を予定している。

**◎** 耐震ベッド、耐震シエルター設置補助金の補助率は。

**◎** 産業建設課長 限度額が40万円で、国が3分の1、県が3分の1、町が6分の1、本人が6分の1という負担割合となっている。

### 損害賠償 (専決処分)

平成26年5月25日に温泉館「海の里」を利用された大阪府在住の男性が、後にレジオネラ肺炎を発症された。

その男性と示談交渉を進めてきた結果、平成27年4月2日に示談が成立した。

損害賠償額は107万7千円で、全額保険により支払われた。

# 条例改正

日高町税条例等  
の一部を改正（専決処分）

主な内容

- ふるさと納税に係る個人住民税の寄附金税額控除の手続きの簡素化。
- 環境への負荷の少ない軽自動車を対象とした軽自動車税の軽減特例の創設、及び、2輪の軽自動車等に係る軽自動車税の税率の引上げ時期の1年延長。

日高町国民健康保険税条例  
の一部を改正

- 地方税法施行令の一部改正等により賦課限度額の引き上げと、5割軽減、2割軽減の対象となる世帯を拡大するもの。（専決処分）
- 財源を確保するため税率を改めるもの。

● 3月議会予算審議の時には、1人当たり8210円、9・22%の引き上げを前提とする予算であるという説明であった。

この条例案は、予算の時の説明と同じか。  
**税務課長** 所得状況、固定資産税の賦課状況などに基つき、実賦課の試算を行った結果、今回の税率となった。

1人当たり14・83%、1万3337円の引き上げとなる。

## 国民健康保険税引き上げ

項目	基礎課税額(医療給付費分)		後期高齢者支援金分		介護納付金	
	改正前の 税率・金額	改正後の 税率・金額	改正前の 税率・金額	改正後の 税率・金額	改正前の 税率・金額	改正後の 税率・金額
所得割額	6.40%	7.25%	2.15%	2.70%	2.20%	2.23%
資産割額	26.20%	30.00%	8.50%	10.80%	10.40%	11.70%
均等割額	24,200円	28,200円	8,000円	10,200円	10,800円	12,200円
平等割額	20,100円	22,700円	6,600円	8,200円	5,900円	6,400円
賦課限度額	51万円	52万円	16万円	17万円	14万円	16万円

## 安全保障法制の慎重審議を求める意見書

「日本が海外で戦争行為につながる法律の改定を行わないこと、意見書」をあげること求める請願が、町内1332名の方から提出され、総務福祉常任委員会に付託され、審査が行われた。

委員会では、「戦争を望まないのは誰もが同じである。しかし、地方議会から防衛・外交に関する法律改定の是非についての意見をあげることは好ましくない。」という意見が出され、慎重審議の結果、反対多数で不採択となり、本会議においても不採択となった。

委員会では、「法律の改定を行わないことを求める意見書」については、提出できないが、請願署名（1332名）の重みを踏まえ、「法案の慎重審議を求める意見書」を提出することで一致した。本会議において、委員会より提出された左記内容の意見書を全議員の賛成で可決し、国に対して送った。

国際平和と支援法案と平和安全法制整備法案の  
慎重審議を求める意見書

政府は、「国際平和と支援法案」と自衛隊法など、現行関連法を一括して改定する「平和安全法制整備法案」の2つの法案を閣議決定し、現在、国会において審議が行われている。

今回の法案は、自衛隊を海外に随時派遣できるようにし、米軍など他国軍を軍事的に支援することを可能とするものとなっている。多くの住民から、法整備は「戦争につながるのでは」と危惧する声が高まっている。

「平和憲法のもと、戦後70年続いた平和を次世代に引き継ぎたい」というのが多くの住民の願いである。

日高町議会は、世界の平和を願う立場から、国民の理解を得られるよう「国際平和と支援法案と平和安全法制整備法案について慎重審議を行うこと」を政府・国会に強く求める。

# 未来をきずく

# Q & A いっぽん質問

## 町長 出来る限り支援する シルバー人材の活用を

榮 茂美 議員



**問** 日高町シルバー人材センターが設立されて、もうすぐ1年になるが、今までの活動状況は。

**町長** 昨年7月に設立し、8月から活動を開始した。今年3月末で会員数は58名、就業回数119件、事業収入は約250万円で、就業内容は草刈や伐採が約半数を占め、その他、剪定・蜂の巣の駆除・運搬作業等である。

**問** 今後の活動目標は。  
**町長** 5項目の重点目標として、就業に関する啓発活動・町内外への啓発活動及び会員と受注件数の増加・安全作業と事故防止対策・知識技能の取得・ボランティア活動やサークル活動への参加等がある。

**問** 今、全国各地でシルバー人材センターの「シルバー農園事業」が注目されている。

これは、耕作放棄地や休耕田を利用し、農作物の栽培や新鮮野菜の販売を通して、シルバー人材センター会員の健康増進

と生きがいを目指すもので、日高町でも取り組めばどうか。

**町長** 大変良い事業であると考えますが、耕作放棄地等を活用した「シルバー農園事業」の実施にあたっては、シルバー人材センターの法人格が必要

になると聞いている。

**問** 広島県の府中町シルバー人材センターは、シルバー農園で収穫した野菜を使って、地産地消のふれあい喫茶「椿庵」も運営していて、こうした事業は、日高町の将来に対する私の期待と展望である。

その上、シルバー農園事業では、町内の生ゴミ堆肥化も進展するのではないかと期待する。

**町長** 日高町シルバー人材センターは、まだ1年目の活動で、現在は、当町に適応した各種事業等の研究に取り組んでいる。

**問** 日高町地域包括ケア事業として、高齢者の負担となっているゴミ出し支援をシルバー人材セン

ターに委託してはどうか。  
「ゴミ出し日の当日に、高齢者の自宅前に置かれたゴミ袋を回収場所まで運搬するもので、高齢者の安否確認、また声かけ等の見守りもでき、安心の地域社会を作れるのではないか。」

**町長** そういうことも、高齢者にとって必要かと思うが、やはり、これからの協議が大切である。

**問** 沿岸部の高齢者は、傾斜のある狭い路地を、ゴミ袋を一輪車で運んで降りてくる。  
特に、ビン・缶のゴミ袋は大きく重くて負担となり、小さいゴミ袋も町として用意すべきではないか。

また、ゴミ箱も鉄の金網を持ち上げるオープン式ではなく、観音扉の下から開けて入れるような高齢者目標の町作りをお願いしたい。

他の一般質問  
「駅前活性化プラン」  
「国体に向けての取り組み」



設立1年目のシルバー人材センター



西岡 佳奈子 議員

# サイバー攻撃、常に危機意識を町長 調査し対応していく



個人情報保護に万全の対策を

**問** 日本年金機構へのサイバー攻撃で、125万件の個人情報流出した。日高町における同種の攻撃への対策は。

**町長** 住民基本台帳など幹系システムは、保守業者やセキュリティレベルの高い国の機関とだけ繋がっている。情報系ネットワークで問題のメールを受信した場合には警告メッセージ

が表示され、ファイルが無効化される。その他、毎年講師を招いて情報セキュリティ研修を行い、万が一ウイルス感染した場合の対応も決めている。

した上で万全の対策が必要。今後について、より高度な対策を検討する余地があるのでは。

**町長** こういう攻撃は日々巧妙化し、進んでいると考える。現状の対策に甘んじず、職員の意識向上に取り組みむ。

**問** 年金機構の場合には、基幹系システム内の個人情報、情報系ネットワークへ移して活用していたところ、被害にあったということである。日高町でも同様の取り扱いはあるのか。

**問** 一つの例として、神奈川県藤沢市では基幹系から情報系に個人情報移せないようにし、文書発送などについても基幹系だけでできるようにシステムが組まれているということである。

**問** 空き家バンクの制度を導入し、移住・定住を希望する人を受け入れたい。地域住民が有効活用する仕組みづくりなども危険な空き家を増やさないことに繋がっていくと思うが。

**総務政策課長** 業務上、情報系システムにデータを移行して作業する必要がある。必要に応じてデータの移行を認めている。

**問** 日高町においても基幹系のシステムだけで日常の作業が完了するわけではないということである。

**町長** 空き家の老朽化などを未然に防ぐことは重要だと認識している。今後データベースを作成し、有効な対策を講じた。

そのことを認識

**町長** 色々な対策、あらゆる方法についても調査し、対応していく。

**問** 空き家解体への補助金制度の創設を。

## 空き家解体への補助金制度を

**町長** 空き家等の解体にかかる補助制度について県下の自治体を調べたところ、「解体・撤去に係る廃棄物処理費用のみ補助」「空き家の解体・撤去費用への補助」など内容に大きく違いがある。他の自治体の現状を踏まえ、当町の取り組みを検討している。

# 芝 充彦 議員



## 他町に負けない予算の獲得を 町長 町民の為に頑張る

**問** 国土強靱化の中の地域強靱化計画について、地域計画の策定をいち早く取組むべきでは。

**町長** 関係各課の横断的な調整をとれるような体制づくりや、近隣市町や民間事業者、住民の方々を含めた体制づくりは、県の地域強靱化計画とも整合性を図らなければならぬので、今しばらくの時間を要する。

**問** 地域強靱化計画を策定しておけば、日高町の全体のせい弱性がわかり、今後の町政にとってプラスになるが。

**町長** 地域強靱化計画については、その有効性は非常に大きいと考えている。

当町においては、平成25年度に改定した地域防災計画に基づき、町の防災に取組んでいるところである。

地域強靱化計画は、地域防災計画の上位の位置づけとなるので、計画策定にあたり、強靱化策定後は、そこで示された計画に基づかなければいけ

ないので、そうなれば現計画を、大幅に改定しなければならぬ可能性が生じる。

**問** 「防災」とは、基本的に地震や、洪水などのリスクを特定し、そのリスクに対する対処を取りまとめるものである。

今回の強靱化計画は、リスクごとに対処を取りまとめるのではなく、①あらゆるリスクを見据えつつ、②どんな事がある

ろうとも、最悪の事態に陥ることが避けられるような、強靱な強制機能や地域社会、地域経済を事前に創りあげていこうとするものである。

従って、上位計画であるからこそ、強靱化計画を作成する必要があるのでは。

**町長** 町としても関係各課で十分な調整を図りながら、今後取組みを推進していく事が、重要であると思っています。

**問** 我が町も人口が増え続けている。

3役の方も、今までの人脈をフルに活かし、国、県に対して、他町に負けない予算の獲得に励んでいたとき、トップセールスを望む。

強くしなやかな日高町に向けて、町長の意気込みを。

**町長** 今言われた事を胸に、私をはじめ執行部は、しっかりと町民のために頑張っていく覚悟である。

### 地域防災リーダーの育成

**問** 町の自主防災組織は現在いくつあるのか。

**総務政策課長** 各地区にあり22組織である。

3人は必要だ。今後、各地区に参加を呼びかけていく。

**問** 町のホームページに載っている地域防災リーダーの応募だが、積極的に参加を、各地区に呼びかけているのか。

**総務政策課長** 各地区に防災リーダーは1人は必要だと思うので、参加を促していく。

**問** 各地区に防災リーダーが1人では不足だ。

地区には、最低3人は必要ではないか。  
**総務政策課長** リーダー、サプリーダーという形で



つよくしなやかな日高町に（役場庁舎）



# 委員会レポート

## 産業教育常任委員会

### ジョイフルランチを訪問

産業教育常任委員会は、4月22日、午前中、由良町のジョイフルランチを視察し給食を試食しながら栄養士から説明を受けた。

また同日、午後から阿尾の急傾斜工事箇所、避



楠山 護氏 (再任)

崎 繁一氏 (再任)

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求められ、同意した。

### 固定資産評価審査委員会委員

難広場を現場視察した。

先ずジョイフルランチの視察目的は今回、新人議員が多く学校給食について認識を深めること、また新年度より給食費が値上げされていることにより、調理現場の状況、また栄養に対する考え方等の説明を受けるため行った。

調理現場は、2重扉や2度の殺菌消毒、気圧を少し高めにして外気の流入がないような工夫などの徹底した衛生管理に委員一同、感心させられた。

また食材搬入から食材のチェック、調理、配送、後片付けまで1日の工程の説明を受けた。

この日の給食メニュー、ラーメン、ナムル、揚げ餃子、牛乳を試食したが量が少ないのではとの声があった。

栄養面については1ヶ月を単位としてバランスを考え献立を立てているとのことであった。

しかしながら残食もあるとのことであり、残食については調理を工夫し

たり、食べられるようになるまで出し続けたりと食育についても力を入れていると感じ、栄養士としても力を入れているとのことであった。

1日のカロリーとして小学校で630〜730キロカロリー、中学校では830キロカロリーとのことであった。

また値上げについては、「物価上昇と消費税増税によるもの」とのことだが今後も食の安全、栄養のバランス等、考慮しつ



徹底した衛生管理の調理場

つ低価格で提供できるように強く望む。



阿尾の避難広場

阿尾の急傾斜工事箇所、避難広場の進捗は当日8割程度とのこと、避難広場へあがってみると絶対安全とは言えないが一時避難には最適ではないかと思えた。

残り2割は今年度末の予定と聞いているが早期完成を望みたい。

また2期工事の調査も現在しているとのことだが、急傾斜地崩壊対策事業等の対象になれば地域住民とも密に話し合い、最善の策を講じることが期待する。

# 委員会レポート

## 総務福祉常任委員会

### 津波避難タワーを視察



御坊市津波避難タワー及び避難路

当委員会は去る5月22日、御坊市津波避難タワー及び避難路の視察を行い、御坊市防災対策及び地元の藺自治連合会の副理事長より説明を受けた。

防災対策課によると、

当初は藺、名屋、新町地区は名屋地区にあったパチンコ店の建物を避難所として考えていたが、東日本大震災をきっかけに、和歌山県より、南海トラフ巨大地震における最大津波高16mと発表され、避難所を見直す事になったとのことであった。

視察をした津波避難タワーは、地元の藺自主防犯、防災組織の積極的な活動により、また、海抜5・4m、想定浸水深3mの市の所有地に、御坊市で最初の津波避難タワーとして、藺地区に計画建設されたものである。

斬新な形（八角形）で、2層になっており、ステージ高は2階が8m、3階が11m、最大収容人数が800人と、県下最大の規模である。

階段とスロープ式と2カ所から登れる様になっており、車イスの方でも十分な幅で通行可能であった。

完成が平成27年2月、総事業費が1億3千万円である。

藺自治連合会としても、

藺地区はもちろんの事、隣接する名屋、新町地区、そして行政とも連携して、今後、御坊市全体で随時避難訓練を取り入れて行きたいとの事であった。

委員会としては、「津波避難タワーがあるから安全、安心」ではなく、日ごろから防災意識を身につけ、子どもからお年寄りまで、住民と行政が一体となって防災力向上をめざすことが重要であると考える。



地元関係者より説明を受けた



避難タワーの最上階

### 編集後記

議員になって約4ヶ月が経過しました。先輩議員に教えてもらうことばかりで、この歳になって新人を経験しています。

プレミアム付き商品券の発行や紀の国わかやま国体と大きな行事が目前にせまっています。

自分らしさを忘れず、町民の方々と協力しながら、目の前の課題に取り組んでまいりますので、町民の皆様もご協力の程、よろしくお願ひします。

追伸

10月1日～5日は日高町のマツゲンスポーツグラウンドにて国体の少年男女のホッケーが開催されます。

ぜひ、一度は足を運んでみて下さい。

清水 和人

